

## 平和に関する指導実践記録

第6学年 1・2組	指導者	瀧口 準 山田 百合子	
教科・領域	総合的学習	単元・題材	大刀洗特別攻撃隊を中心に
目 標 または ねらい		使用教材 ・ 資料 等	
・福岡にもあった大刀洗の特別攻撃隊について知り、修学旅行で実際に現地に行って話を聞いたり、資料を見たりして、戦争の悲惨さや命の尊さを感じ取らせ、平和を願う心と態度を育てる。		大刀洗平和記念館資料（資料） 大刀洗平和記念館（DVD） 「ホテル」（DVD）	
本時の学習 （実践日 平成27年5月から6月末まで 4単位時間）			
学 習 活 動		児童の主な反応・様子	
1 70年前の戦争での特攻隊の基地が、鹿児島や広島などだけでなく、福岡の大刀洗にもあったことを知らせ、実際に現地に行く修学旅行の前にいろいろと調べるようにさせる。		○福岡の大刀洗には、70年前の戦争での日本陸軍の特攻隊の練習本部があり、たくさんの若い人達がここで飛行機の練習をし、鹿児島の知覧などに派遣されていたことを知り、さらに詳しく調べたいと多くの児童が思った。	
2 大刀洗の特攻隊について調べる。		○修学旅行のグループで、本やインターネットを使って調べるが、あまり詳しくは分からなかった。	
3 調べたことを学年全体で発表し合う。		○調べて分かったことを、学年全体で発表したが、「こんな資料がある。」といった知識面だけの発表になった。	
4 修学旅行で大刀洗に行って、実際に目で見て、話を聞いて考える。		○大刀洗平和記念館のスタッフの人達から、70年前の大刀洗の街や住んでいた人達の様子と日本陸軍大刀洗飛行場のこと、大空襲で亡くなった当時の小学生の話、「ホテル」になって戻ってきた特攻隊員の話などを聞き、当時の品物や遺書、本物の戦闘機などを見て、戦争の怖さや平和のありがたさを実感したようである。	
5 考えたことや感想を書く。		○自分の感想を書く。	
単 元 を 終 え て の 考 察			
<p>平和な世の中に生きている私達にとって、戦争を自分のこととしては考えにくいですが、修学旅行で大刀洗に行って実際に自分の目で見て話を聞いてきたことで、戦争は70年前の「昔のこと」や「他人事」などでなく、自分や自分の家族にも直接関係するものとして体験し、少しは戦争を身近なものとして考えることができた。</p> <p>その戦争やテロ行為が、世界ではいろいろな所でまだあることから、自分たちがさらに平和な世の中をつかっていくことの大切さを感じることができた。</p>			